

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成18年6月1日号 (NO. 11)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

現地では本格的な可動堰本体工事に向けた仮設工事がはじまりました。

堰本体工仮設工事開始

大河津可動堰改築本体 I 期工事の概要を説明します。

新可動堰のゲートは6門(堰柱7基)になりますが、本体 I 期工事では7基分の基礎工と左岸側から5基分の堰柱を施工します。また附属する左岸側の魚道工・護岸工・管理橋の下部工(橋台・橋脚)のほか、本体仮設工として地下水流入を抑える遮水工(連続地中壁工)、仮締切工を施工します。

残った2基の堰柱や右岸側の施設(魚道工・護岸工・管理橋下部)、ゲート設備、管理橋橋桁については、本体 I 期工事の進み具合を見て、平成19年度以降、順次発注していきます。

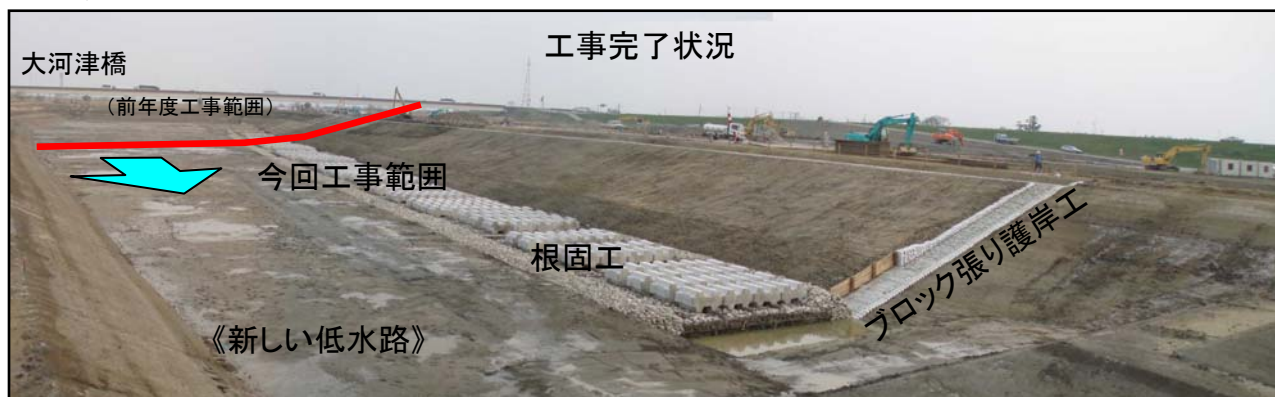


現在、現地では本体仮設工事として連続地中壁工(TRD工法)を行っていますが、工事箇所が高水敷上であるため、洪水期となる7月から9月末までの期間は工事を一時中断し、10月に工事を再開、本格施工に入ります。

10月以降になるとダンプトラックなど工事用車両の通行が多くなりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

工事が完了しました

昨年11月から大河津橋下流で行っていましたが掘削及び護岸工事の2つの工事が5月に完了しました。護岸工は植物が生えやすいようにコンクリート製ブロックの上を土砂で覆っていますので、見た目にはどのような工事をしたのか分からないと思いますが、現地では根固工のブロックが顔を出していますので、新しく低水路となる箇所のイメージをふくらませてみてください。



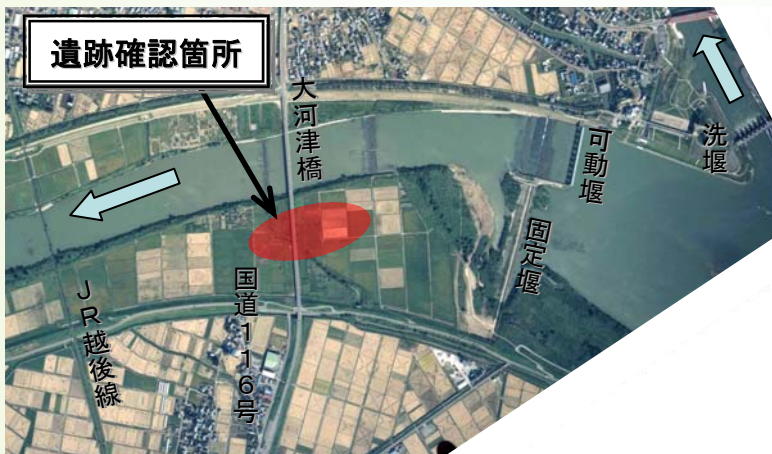
工事期間中は、大型車両の通行に際し地区の皆さんにご迷惑をお掛けしました。

平成18年度も引き続き掘削及び護岸工事を継続していきますので、ご協力をお願いします。

埋蔵文化財発掘調査を行います

大河津分水路内で遺物が確認され、新潟県・寺泊町(現長岡市)・分水町(現燕市)の担当部局による確認調査の結果、国道116号大河津橋を中心とした範囲から縄文～古墳時代のもものと見られる土器片や遺構※が確認され、「五千石遺跡」と名付けられました。

長岡市・燕市を主体として、平成18年度から平成20年度までの3ヶ年を目処に、可動堰改築工程と調整しながら発掘調査を実施します。 ※遺構(住居の柱跡と考えられる穴、溝跡、小河川跡など)



確認(試掘)作業状況(平成17年6月撮影)



確認された遺構※(平成17年6月撮影)



試掘結果写真(出土した土器片等の一部)

アユ遡上の時期です

大河津洗堰に設置されている魚道観察室では、魚の遡上する様子を見ることができます。

例年5月下旬ごろからアユの稚魚が遡上しはじめ、7月上旬くらいまで確認することができます。ぜひおいでください。



魚道観察室のようす

現可動堰近くの石碑には、太陽を表し日本サッカー協会のシンボルにもなってる八咫鳥(やたがらす)と、月を表す兎が刻まれています。探してみてください。



『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://kadouzeki.jp>

信濃川大河津資料館

<http://ohkouzu.jp>